

2回戦 対NTT西日本戦

試合日:11月5日

この記録は公式ではありません。
私のメモ程度を編集したものです。

NTT西日本(先発選手) 先攻

- ① サード 仮谷
- ② レフト 石山
- ③ ショート 梅津
- ④ DH 中西
- ⑤ ショート 赤嶺
- ⑥ キャッチャー 大城
- ⑦ センター 中村
- ⑧ セカンド 長田
- ⑨ ライト 景山

ピッチャー 吉川

ヤマハ(先発選手) 後攻

- ① センター 長谷川
- ② レフト 鈴木光
- ③ ライト 矢幡
- ④ ファースト 佐藤
- ⑤ DH 井上
- ⑥ セカンド 河野
- ⑦ サード 前野
- ⑧ キャッチャー 川邊
- ⑨ ショート 青柳

ピッチャー 鈴木博

NTT西日本は今夏都市対抗の初戦で東京ガスに敗れました。
という事は、東京ガスに勝ったヤマハは……

1回表

- ① 四球
- ② 四球 17アウト
- ③ 送りバント成功(17アウト2塁3塁)
- ④ レフトフライ 27アウト
- ⑤ 四球 (2アウト満塁)
- ⑥ ショートフライ 37アウト

2回表

- ⑦ 四球
- ⑧ キャッチャーフライ 17アウト
- ⑨ (2盗成功)ライトフライ 27アウト
- ① 四球 (2アウト1塁3塁)
- ② 四球 (2アウト満塁)
- ③ ショートゴロ 37アウト

1回裏

- ① ショートゴロ 17アウト
- ② レフト線2塁打
- ③ サードゴロ 27アウト
- ④ 四球 (2アウト1塁3塁)
- ⑤ 三振 37アウト

2回裏

- ⑥ セカンドゴロ 17アウト
- ⑦ 三振 27アウト
- ⑧ サードゴロ 37アウト

ヤマハの先発鈴木は 150km/h を超すスピードボールが持ち味ですが、この日は如何せんコントロールが定まらず、1回、2回共に三四球を献上(合計6個)。“カラー しっかり投げんかい×××”と昔の阪神や近鉄のファンならば(?)言いたいところですが、そこはヤマハの応援団。胃の痛みをこらえて、必死に鈴木を応援します。“ガンバ、ガンバ” 鈴木も何とか失点せずに持ち応えます。

3回表

- ④ 四球
- ⑤ 送りバント成功(17アウト2塁) 17アウト
- ⑥ ライト前ヒット(17アウト1塁3塁)
- ⑦ ショートフライ 27アウト
- ⑧ 三振 37アウト

3回裏

- ⑨ ライトオーバーHR 1点先取
- ① ショートライナー 17アウト
- ② センター前ヒット
- ③ センター前ヒット
- ④ レフト前ヒット 1点追加
(投手交代 吉川→濱崎)
- ⑤ 三振 27アウト
- ⑥ セカンドゴロ 37アウト

9番、主将青柳の一打はあれよあれよという間にホームラン。敵も味方も一瞬ポカン(?)
その後も3連続安打で更に1点を追加します。やっぱりキャプテンは頼もしい!!

4回表

⑨三振振り逃げ(ノアウト1塁)	
①センターフライ	1アウト
②(2盗成功)三振	2アウト
③サード内野安打(2アウト1塁2塁)	
④ファーストフライ	3アウト

5回表

⑤ピッチャーゴロ	1アウト
⑥ショートゴロ	2アウト
⑦三振	3アウト

6回表

⑧レフト前ヒット	
⑨ファーストエラー	
①三振(1アウト1塁3塁)	1アウト
(投手交代 鈴木→九谷)	
②スクイズ成功(2アウト2塁)	2アウト 1点
③ショートゴロ	3アウト

4回裏

⑦レフトファールフライ	1アウト
⑧ファーストエラー	
⑨セカンドエラー(1アウト1塁2塁)	
①ショートフライ	2アウト
②セカンドライナー	3アウト

5回裏

③レフトフライ	1アウト
④セカンドゴロ	2アウト
⑤ショートゴロ	3アウト

6回裏

(投手交代 濱崎→吉本)	
⑥ピッチャーゴロ	1アウト
⑦センター前ヒット	
⑧ライト前ヒット(1アウト1塁3塁)	
⑨スクイズ(相手のFc)	1点追加
①三振	2アウト
②ショートゴロ	3アウト

6回表、ヒットとエラーでヤマハはピンチを迎えますが、鈴木投手は続く打者を三振に抑えます。しかし、ヤマハの監督はここで2番手投手、九谷へスイッチ。“エー そうなの？…”『この試合はあそこで、投手をパッと替えた監督の采配が全てや』（学生時代、大商大のエースでプロを目指したこともある、大東楽器細川会長談）さすが、目の付け所が違いますね。九谷はこの期待に応え、この回を最少失点に抑え、その裏の追加点に繋がります。

7回表

④(代打高本)ライトフライ	1アウト
⑤(代打富里)サードゴロ	2アウト
⑥ファーストゴロ	3アウト

8回表

⑦四球(ランナー牽制アウト)	1アウト
⑧キャッチャーゴロ	2アウト
⑨(代打山口)セカンド内野安打	
①セカンドフライ	3アウト

9回表

②ショートゴロ	1アウト
③サード前バントヒット	
④レフトフライ	2アウト
⑤サードゴロ	3アウト

7回裏

③セカンドゴロ	1アウト
④ライトフライ	2アウト
⑤(代打池知)ショートゴロ	3アウト

8回裏

⑥サード内野安打	
⑦レフトフライ	1アウト
⑧送りバント成功(2アウト2塁)	2アウト
⑨三振	3アウト

3対1の接戦をヤマハはモノにしました。これは結構大きい。初戦の打線の爆発だけではなく、接戦をモノにすることでもう怖いものはなし(?) 2番手九谷投手は中1日おいて連投になりましたが、6回以降2安打1四球に抑えます。何か躍進の予感がする… だって少ないチャンスで得点できたり、エラーがあってもそれを契機に崩れることもないんだもの。“1回戦に勝てたら優勝するんじゃないか”といった人がいましたが本当か？期待は高まります。

3対1 ヤマハ3回戦へ(次はベスト8の激突です)